# 粉切界医

# 2021年7月21日発行

【6面オールカラー】発行部数2,897部

第 294 号

発行元/青森県民主医療機関連合会 所在地/〒030-0822 青森県青森市中央1丁目6-8 3 F TEL. 017 (723) 4076 FAX. 017 (773) 5326 URL http://aomin.jp/ e-mail\_info@aomin.jp

# 第6回

# 診療所管理者 交流集会開催



4月24日(土) 県連診療所委員会主催としては初めてのZoom形式で交

流集会を開催し39名が参加しました。第1部の県連内7事業所(診療所・クリニック)近況報告では、新年度予算で外来件数を例年通りに戻したいがCOVID-19対策上のジレンマに悩んでいる報告が印象的でした。第2部は、「パンデミック/気候変動とこれからの診療所医療」と題して藤沼康樹 Dr (CFMD センター長・浮間診療所所長)の講演がありました。

講演内容は、昨年から新型コロナウイルス対応を実践して来て感じたことや分かったことなどを元にこれからの診療所活動を続けて行く上で必要な「目とかまえ」を解説しているものです。

# ●「かぜ・発熱外来」を開設して

「かぜは出会いのきっかけ」という家庭医療の原則を再確認した。かぜ・発熱外来を始めてから全体の患者数は当初7割減となったが新規患者数は増えた。かぜは普段出会わない地域住民との新しい出会いを生んでいることに気づいた。例えば、思春期などは慢性疾患がないため通常は診療所にかかることがない。しかし、かぜをひくと診療所を受診するわけでその時に思春期に何かを抱えていないか聞きだす事ができる「タバコ吸ってないよねー」「何か心配なことある?」など、とても有効なアプローチが可能。しかも、COVID-19によってそのような人が増えていることが分かってきた。現在は明らかなCOVID-19症状以外は受けるようにしている。

## ●2020年度末「第3波」の中で見えてきたこと

COVID-19が直撃している人口レイヤー(虚弱高齢者、貧困層、慢性疾患、認知症の人たちなど)は、特に都市部では50歳以下の勤労層や学生層には見えないような社会になっていた。都市化・集中化は効率化だけを優先して「都合の悪いもの」「見たくないもの」は覆い隠す。こんな日本の都市設計であったことが分かった。

## ●社会的処方(Social Prescribing)

高齢で独り暮らしなどの孤独感に対する処方として抗孤独剤というお薬はない。この社会的処方は英国を中心にヨーロッパで盛んに取り組まれている。英国では社会的処方に基づいてリンクワーカーが地域のコミュニティにつなげている。コミュニティの必要性に関する理論的根拠としては、独りでいるより諸活動(集い)に参加している人のほうが要介護発生ハザード比で最大1.65倍の差が確認されている。活動には積極的でなくともみんなの輪に参加することに意義があることが研究結果で判明している。

## ●これからの診療所活動を想像

• 看護師には伝達作業だけでなく臨床推論ができるスキ

ルを身につけてもらう

- コミュニティづくり、居場所づくり
- パンデミック時代における活動の仕方の創出
- 現代的ヒーリングスペースとしての診療所の追及

# ●気候変動/危機は断続的なパンデミックをもたらす

地球温暖化により永久凍土からの未知のウイルスが放出することが懸念されており、これがあらたなパンデミックの到来につながる。よって、ヘルスケアシステムは気候変動に取り組むシステムとリンクしていなければならない。

## ●医療活動と温室効果ガス

「カーボンフットプリント=商品が原料の生成から廃棄に至るまでのライフサイクルで大気中に排出したCO2などの温室効果ガスの重量を算出した指標」環境経済学で計算が進んでいる。

- ヘルスケア(医療材料)による排出量の絶対量は増加中(2011年度は全温室効果ガスの4.6%)
- 入院 (一人当たり) の排出量は入院外に比べて 12: 2.1
- •服用されない残薬を減らすだけで相当量の排出ガスが減る

地球を守るためには、ヘルスプロモーションと様々な温 室効果ガス排出を減らす活動オプションの創出が必要。

## ●多岐にわたる視点での取り組みが必要です。

気候変動に対抗する運動に参加していきましょう。

第3部は、青森保健生協(宮本専務)から「中部・安方エリアの事業再編(中間報告)」の説明、八戸生協診療所(原所長)から所長交代(5年目)の経過報告(感想)と富田看護長から全日本民医連第7回診療所交流集会(9月18日(土)Web開催)の準備状況が報告されました。全体として2時間半のタイムスケジュールでは足りない充実した印象でした。中部・安方エリア事業再編には離れた各診療所の職員達からエールが送られ、これからはもっと気軽に情報交換ができる機会を増やす必要があると感じました。

(健生五所川原診療所 事務長/奥瀬昭彦)

## 診療所管理者交流集会 参加者感想をご紹介 (一部抜粋※原文のままです)

# ▶学習企画「パンデミック/気候変動とこれからの診療所医療」について

- ●発熱外来での、普段は受診しない若い世代との繋がりを大切にすることや社会的処方の重要性を学べた普段の患者様の 問診や会話の中でその人のhealing効果に気づけるようなセンスやアンテナを持ちたいと感じた。
- ●先が見えないCOVID-19禍によって、正確な情報収集と情報を基にした判断・対応が重要になっていると感じます。メディ アの情報だけではなく、県内各地域でもどういった認識をもっているのかや過度な反応によって、生じる問題について も考えなくてはいけないと思いました。
- ●藤沼先生の講演はとても興味深く、楽しかったです。今迄は、通院や一つの医療行為を行うにも、温室効果ガス排出に 繋がっていることに考えが及んでおらず、衝撃的でした。気候変動に対する学習を職員教育に取り入れ、全職員で温室 効果ガス排出を減らす取り組みをしていくことが重要だと感じました。

# ◆「中部C・安方C事業再編を成功させよう」について

- 2 つの事業所が合併して新たに事業を再開していくことは職員、患者ともに大変なことだと思います。何度も話し合い ながら、それぞれの意見をまとめ、よい事業所となるよう期待しています。
- ●建物の老朽化に対しては早急な対応が必要だと思いました。事業所の建物が新しくなると、新たな事業展開などスタッ フのモチベーションも上がると思いますので、その都度進捗状況も聞いてみたいです。

# ◆「八戸生協診療所の所長交代後の診療活動と課題や展望」について

- ●医師だけでなく、医師を取り巻く看護師、事務、技師等の職員の協力が大切だと改めて思いました。
- ●青森、弘前と違い診療所を後方支援できる民医連の病院がない中で、八戸の地域とも連携して取り組んでいることがわ かった。言葉では言い表すことができない苦労もあるだろうなと思いました。

生協 ができました。(津軽保健生協

本部

総務部次長/古村

され滞りなく 場一致で採決 げられ、すべ 終了すること ての議案が満



質疑が繰り広 たが、活発な ではありまし

案されまし 款の変更などを含め全六議案が提 た。限られた

時間と総代数

る日程で行いました。今年度は定 小限に抑え、

数を最

半日で終了す 職員の出席人 総代・理事・ 止のために、 ス感染拡大防

総務部長/坂野友昭 と決算、二〇二一年度の事業計画 時間についても約二時間に短縮し る参加を主とする運営とし、 とができました。(青森保健生協 おり採決され滞りなく終了するこ ました。二○二○年度の活動報告 役員改選などについて審 すべての議案が提案ど 開催



感染拡大防止のため出席者や日稈 されました。新型コロナウイルス 生協第九十六回通常総代会が開催 二〇二一年六月十九日津軽保健

津軽

保

を縮小しての開催となりました。

常総代会が開催されました。

生協さくら病院デイケアホールに

二〇二一年六月二十六日(土)、

健 生

て、青森保健生協二〇二一年度诵

昨年同様、

年同様、 スの感染症拡 コロナウイル 大防止の 実務参加 新型



者数を絞り、 今年度も昨

組合員活動部長



多数で採択され、 た。(八戸医療生協 無事終了しまし

事総代において最小限にしぼり れる中でしたが、 した。当日の活発な討議が制限さ 答一覧」を作成し当日に配布しま や意見を前もって集約し た。また、各議案については質問 という状況での開催となりま 名中二十名、書面議決百二十七枚 時間で行う事としました。 当日は、総代の実出席は百五十 各議案とも賛成 「質疑応

# , 医 療生

催されました。 日(金)に八戸市福祉公民館で開 三十三回通常総代会は六月二十五 コロナの影響で出席者を理事監 二〇二一年度八戸医療生協の第

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、多くの定 例会議や企画が中止となり、今期の第39回全国ジャン ボリーもオンラインでの開催予定となっています。この 状況下でも県連ジャンボリー小委員会で何か出来ること がないかと日々検討した結果、これまでのジャンボリー 活動をまとめた資料集の作成と、完成後には発表や展示 活動を検討しています。

資料として、特に2012年以前に行われた「全国ジャ ンボリーまたは地協ジャンボリー」の写真や参加資料、 関連グッズ等がありましたらお貸しいただき、資料を持 ち合わせていない場合でも、参加経験のある諸先輩方の

ジャンボリー活動へ参加してみて の思いや、働くうえで生きている 事柄など、身近にいるジャンボ リー委員がお話をお伺いできれば と思います。少しの情報でも活動 の励みとなりますので、ご協力頂



けますようお願いいたします。募集方法としましては、 身近のジャンボリー委員に声を掛けて頂くか県連にご連 絡くださいますようお願いいたします。(ジャンボリー 問い合わせ先 青森民医連(八木澤) 電話017-723-4076

動

小委員会委員長・ショートステイ虹の郷/対馬周也)

員会では流れます。 習も合わせ充実した時間 原発誘致に至る市町 る学習」は四回を数え、 など知れて、 委員会内の きたいと思います。 肌で感じました。 取り組みを通じて人づくり 知らなかった隠れた歴史、 今期の県連ピースメイト小 (青森民医連/八木澤寛 ,活動の道筋を作っ 「地域の 学ぶ事の大切さ 委員の学 このよう 村の葛藤 歴史を知 今ま が委

このマークのどちらかが、おはしに掲載される予定です。

peace: smile Peace-O-smile

置を再び確立する為に設立当初からの資料を基に今後 らう為に財政活動を実施しようと、 ることにました。 に参加してもらいたいと考えてい うためにもフィールドワーク企画には是非多くの職 、禍では難しい状況です。 五色で一〇〇膳発注し、 活動を検討することになりました。 なくなり、 在、 口 は -ルドワ 民医連職員により広く委員会活動を知ってもら ナが蔓延してから私達ピー 港 委員会活動がピースメイト委員 を失った船の ークもクラスターが 詳細につ 委員も増えた我々は自らの立ち位 よう ならばまず活動を知っても 膳 で 五 した。 、ます。 発生 ○○円として販売す 今後のお知らせを 企 しかし、 、内で留まって 「塗のおはし」 画 委員会の コ

ナ禍で出来る活動 の追 求

# 「政治と社会に関する問題意識アンケート」実施について

お待ち下さい

6月16日、通常国会は150日間の会期を終えて閉幕 しました。今国会は63法案が提出され、社会保障の分 野では「高齢者医療費2倍加法」が成立しました。75歳 以上の窓口負担が2倍加されれば、通院の頻度が高い高 齢者ほど負担が重くのしかかり、受診抑制をせざるをえ ない状況を招くであろうことは容易に想像つきます。

また、個人情報保護を骨抜きにするデジタル改革関連 法や、憲法改正の手続きを狙う国民投票法改正案、米軍 や自衛隊基地周辺の住民を調査・監視する土地利用規制 法案の成立は、国民本位の法律でなく、国家権力の強行 と戦争への道を匂わせるものです。

いま、大企業が空前の利益をあげながら、長引くコロ ナ禍で経済格差が拡がる状況下において、弱い立場にあ る高齢者の医療費自己負担を倍加すること等を強行した 政治あらため、大企業や富裕層への応分の課税、軍事費 の削減を実現し、社会保障を充実させ、一人ひとりがそ の人らしく生きていける、個人の人権が尊重される社会 への転換が求められています。

私たちは、例え政治に無関心であったとしても、無関 係ではいられません。

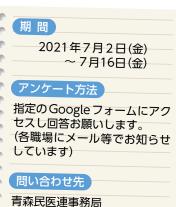
今回のアンケートは、民医連ではたらく全役職員が、 政治と社会のありかたについてどのような問題意識を

持っているのかを聞 き、今後の社会保障、 反核平和運動を進める うえでの課題を明らか にし、民医連運動にお ける新たな展望を切り 開くことを目的に実施 しました。

職員の皆様にはご協 力いただきありがとう ございました。

(県連社保委員長

/柳谷 円)



(担当:下舘・津川)

電話: 017-723-4076

差だけは何としても是正していく必要が の差・住居の差・学歴の差など、 の実現」という一文がありますが、今こ 領の初めに「無差別・平等の医療と福祉 その多くに衝撃を受けました。民医連綱 を行った人の割合が、 至った事例、 仕事が無くなり病院を受診できず死亡に の結果についてでした。コロナの影響で がると思いました。 とはミスの防止や自分自身の成長にも繋 で調べても分からないことを先輩方にお ミュニケーションの大切さ」でした。患 そ考える必要があると思いました。収入 した。二名の方に共通していたのが「コ 卒薬剤師に対してメッセージが送られま 格差が取り沙汰されていますが、 者様への発言には責任が伴います。 |万円未満| ほど高くなっている事実、 増田会長の講演で特に印象的だっ コロナ禍を起因とした困窮事例調査 職員同士での情報共有を行うこ 何も高額な医療を進んで提供 費用負担を理由に受診控え 低所得者 (年二) 医療の たの 思 (ファルマ いまし

り前の社会になればいいのです。 修会から、薬だけではなく、 体調が悪ければ病院へ行く」それが当た すると言っているわけではありません。 患者様の生 この研

点でコロナ禍を診てその役割を発揮する」をテーマに講演・学習会を行いました。

講師に増田剛氏(全日本民医連会長)を招き「民医連綱領の視 全国から七十五名、青森民医連からはファルマ弘前薬局の一 六月二十三日(水)、200mにて第四十四期全日本民医連二〇二一年新卒薬剤

\*\*\*\*\*\*

名が参加しました。 師研修会を開催し、

講演に先立ち、

先輩薬剤師二名から新

師になりたい えられる薬剤 活背景まで考



上の写真は6/26년万岁和22020年交換削時間後の様子です。昨年度開催できなかった ので同時期に同じ穴容で尻かれました。(写真提供8全日本民医連)

# 太平洋

# 快晴の6月2日、民医連から3名が参加しました。

平内町、六ケ所村、横浜町、野辺地町の各役場前で「原 水爆禁止」「戦争反対」の横断幕を掲げスタンディン グアピールをし、町長らと懇談しました。野辺地町の アピール終了後、十和田市、八戸市からの参加者にペ ナントを引き継ぎました。

昨年度に引き続き今年もコロナ禍のため行進せず、 宣伝カーやスタンディングアピールの行動でしたが、 道行く方々に平和への思いを伝えられたのではないか と思います。未だに核兵器禁止条約に同意しない政府 を変えるため、取り組みのバトンをつなげ日本を縦断 していきます。(一般社団法人 あおもり健康企画 総務部/玉熊律郎)





# 本海

# 浪岡庁舎前で国民平和大行進スタンディング

6月2日、浪岡庁舎前で国民平和大行進スタンディ ングを行いました。

日本は唯一の被爆国であるにもかかわらず、核兵器 禁止条約に参加していません。核廃絶を単なる理想で はなく現実に進めるためには、まず核兵器禁止条約へ の参加が必要ではないのでしょうか。このスタンディ ングを多くの方に知ってもらい、核兵器と平和につい て今一度考えていただきたいと思いました。

(ファルマ浪岡薬局/雪田友莉恵)







# 2021 年度

# 度は県内3箇所で行いました



横断幕やフラッグが飛ばないように注意しなが ちと健康を守る」署名への活動を行いました。当 四名の方から署名を頂きました。 下さる方がおり、三十分の短い時間でしたが二十 いてくださる方や、 客さんの中には、足を止めて職員の話を熱心に聞 日は署名用紙も飛ばされるほどの強風でしたが、 を行いました。職員十六名が参加し、二十四名の 八戸の三か所での開催となってしまいましたが、 気に署名を呼びかけていました。 方から署名を頂きました。新入職員も参加し、元 して、コープあおもり 今回は新型コロナの影響もあり、青森・弘前 五月八日、春の看護・介護ウェーブーn八戸と 「安心・安全の医療・介護の実現と国民のいの八戸医療生活協同組合では十六名の職員が参加 署名への呼びかけを行いました。買い物のお お孫さんと一緒に署名をして るいけ店前にて署名活動

> タンディングに合 隊が行い、終了後ス 反応でした。 流。署名十八筆と好 ポスティングを別部





引前でのスタンディング 弘前でのポステ

らも一名参加)で密を避けて取り組みました。 にポスティングを総勢十二名(社福法人花か 前でスタンディングを行い、その後周辺地域 津軽保健本部(コープあおもり和徳支店)

気づくことが出来た貴重な時間でした。

共感して下さる地域の方々がいらっしゃることに

コロナ禍にあって、

医療・介護の現場の切迫感に

弘前

で近隣住宅への署名 組みました。同時刻 ク宣伝+署名に取り



護の実現を目指し ・安心の医療

て

青森

福法人虹、

社 社.

青森保健生協、

# 往

2014年4月~7年間、医学対などの業務をしました! 民医連運動の専従者から対患者の医療労働者に戻ること

に緊張と期待をしています。「恥ずか しながら戻ってまいりました」といっ た感じで再出向にならないよう、次 の職場では謙虚に仕事に邁進したい と思います。



やはぎ ふみたか 史考

(青森民医連弘前事務所

⇒藤代健生病院 地域連携室)

県連弘前事務所に、医学生担当として着任いたしまし た。約2年ぶりとなりますが、前回着任時とは異なる職

タンディング+マイ ヨーカドー前でのス が参加し、イトー 職員総勢三十名ほど あおもり健康企画の

場の状況に、社会の目まぐるしい変化 を実感しているところです。初心に 帰って精一杯頑張りますのでよろしく お願いいたします。



相馬 小百合

⇒青森民医連弘前事務所)

(津軽保健生協 教育部

5

# 私の三つ星★★





オススメ ~おうち時間ver.~

# 「きくらげ栽培」

生きくらげ栽培に出会って早4年、食感の大ファ ンとなった私は毎年この時期になると、自宅で菌 床栽培しています。高温多湿(じめじめ)がお好 みで、直射日光はNG。さらに酸欠にならないよう 空気も必要です。黒のシートで被い毎日2~3回 水を吹きかけ成長を楽しんでいます。いつか青森 きくらげも栽培してみたいです。

※きくらげの栄養素:食物繊維・ビタミンD・鉄分・カルシ ウム・その他ミネラル類

(あおもり協立病院 庶務課/森田文子)

オススメ ~おうち時間ver.~

# 「ホームベーカリー」

コロナが昨年より流行し、おうち時間が増えましたね。 外に出られないぶん、おうち何をしようか考えていたと ころ、同僚の「焼きたてのパンはおいしいよ」の一言に 即決して、ホームベーカリーを購入しました。

30数年いやもっと(笑) いろいろなパンを食べてきまし たが、焼きたてを食べたことがないことに気づきました。

今はまだ、姪と一緒に食パンを2回しか焼いていませ んが、パンの焼けるにおいが部屋中に広がる時間はとて も穏やかな気持ちになります。そうそう今度はジャムづ くりにも挑戦してみたいと思っています。

(青森県民医連 青森事務所/成田美奈子)





2021年7月

# 第15回理事会報告

>> 全日本民医連理事会報告

>> 決裁事項

薬学生奨学生 奨学金貸与 停止の提案

2021年度初期・入職1年目研修 開催要項

第50回県連看護介護活動研究交流集会開催要項

2021年度県連内介護事業所乗り入れweb 点検 事前学習会について 県連リハビリ技術者委員会「セラピスト中堅教育」再開について

「東信医療生協経営対策委員会総括」

>> 協議事項

2020年度下期監査報告書

2020年度決算所見

全日本民医連職員育成指針の討議の提案

新型コロナウイルス対応について(各事業所対応状況など)

>> 報告事項

全日本民医連 通達・声明

7/31 県社保協総会

>> 会務報告/各委員会·医師委員会報告

社保委員会からアンケートの提案

2第8回民医連看護管理者研修開催要項(第2報)